

2021年1月期 通期決算説明資料

2021年3月9日

証券コード:6696 東証マザーズ

 Platform Planning & Product

1. 2021年1月期 決算概要 (P4～P11)
2. 2022年1月期 業績予想 (P13～P17)
3. 事業別の状況 (P19～P30)
4. 参考資料 (P32～P45)

2021年1月期 決算概要

2021年1月期 決算概要

連結業績ハイライト

通期 連結業績	新型コロナウイルス感染症拡大により、減収減益。不採算事業の整理、人材刷新、Platform事業の新ビジネス展開の仕込みを推進 売上高 586百万円 YonY 25.1%減 営業利益 △288百万円 YonY —
メディア Platform事業 & ITサービス	新型コロナの影響により美容サロン向けサイネージ設置、広告獲得に遅れ 新Platform展開と合わせFY22本格化見込 売上高 40百万円 YonY 41.1%減
IoTソリューション	LEDサイネージ単体設置案件伸長、STB/Cygnus前期比減 売上高 388百万円 YonY 31.5%減
IT技術	システム受託開発、エンジニア派遣が堅調に推移 売上高 157百万円 YonY 7.1%増

新型コロナウイルス 感染症拡大の 主な影響

- ◎緊急事態宣言発出の下、美容サロン向けサービスでのサイネージ設置をスムーズに行うことができず、サービスの開始の遅れ、設置ペースが大幅に遅延。
- ◎外出自粛により、サロンサイネージと生活者の接触数が大きく減少。広告主の広告出稿を抑制するといった動きが数多く見られた。
- ◎東南アジア各国間の自由な渡航が制限され、海外工場での製造体制の構築に想定以上の時間を要した。
- ◎半導体産業の好調（5Gの高速の加速、DC建設増等）に伴う、半導体不足による納品リードタイムの長期化。

2021年1月期 決算概要

連結PLサマリー

単位: 百万円	FY21 実績	FY20 実績	YoY	業績予想 (2020年12月25日発表)
売上高	586	783	△ 25.1%	549
売上総利益	205	229	△ 10.5%	
売上総利益率	35.0%	29.3%	+6.0pt	
販売管理費	493	332	48.4%	
営業利益	△ 288	△ 103	-	△ 327
営業利益率	-	-	-	
経常利益	△ 286	△ 102	-	△ 324
経常利益率	-	-	-	
当期純利益※	△ 367	△ 122	-	△ 387

◎減収となるも商材の粗利率の精査・見直しにより売上総利益は6ポイント上昇

◎販管費の増加

- ・合併による人件費 +79百万円
- ・本社移転関連 +27百万円

◎特別損失 84百万円

- ・事業整理・減損損失 65百万円
- ・合併関連費用 12百万円
- ・本社移転費用 6百万円

※親会社株主に帰属する当期純利益 5

2021年1月期 決算概要

事業セグメント別売上高

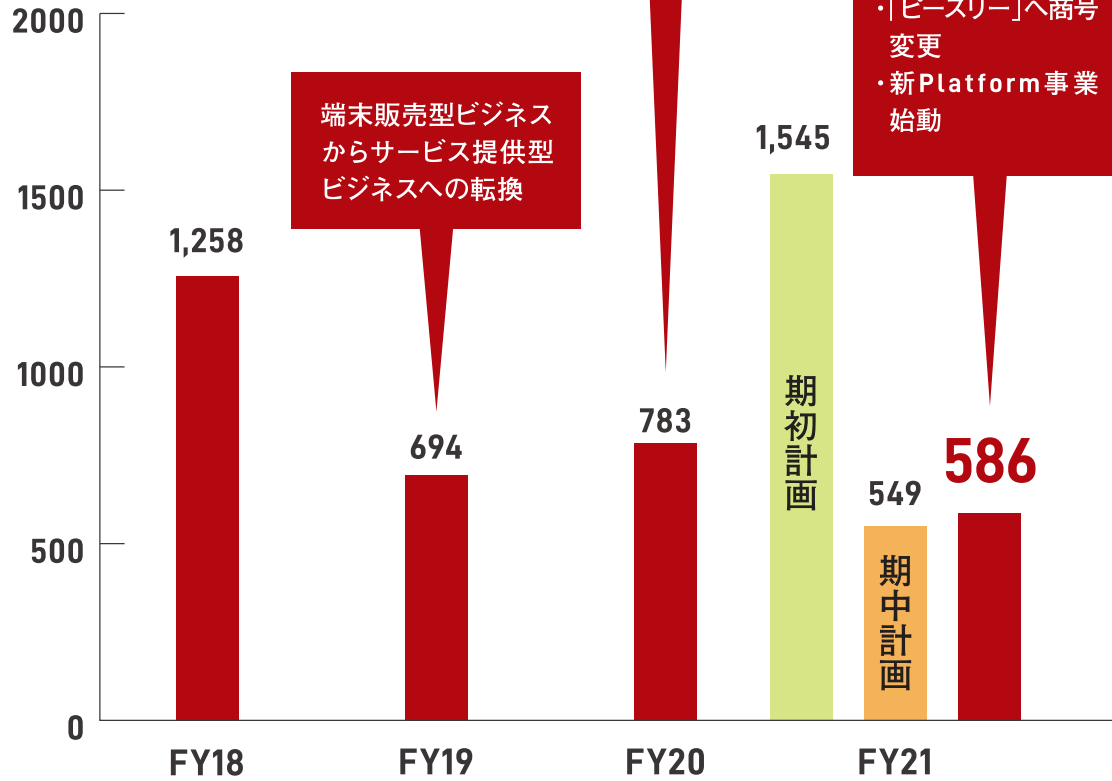
単位:百万円	FY21 実績	FY20 実績	YoY
売上高	586	783	△25.1%
メディアPlatform& ITサービス	40	68	△41.1%
IoTソリューション	388	567	△31.5%
Hospitality	264	370	△28.6%
Enterprise	124	197	△37.0%
IT技術	157	146	7.1%

2021年1月期 決算概要

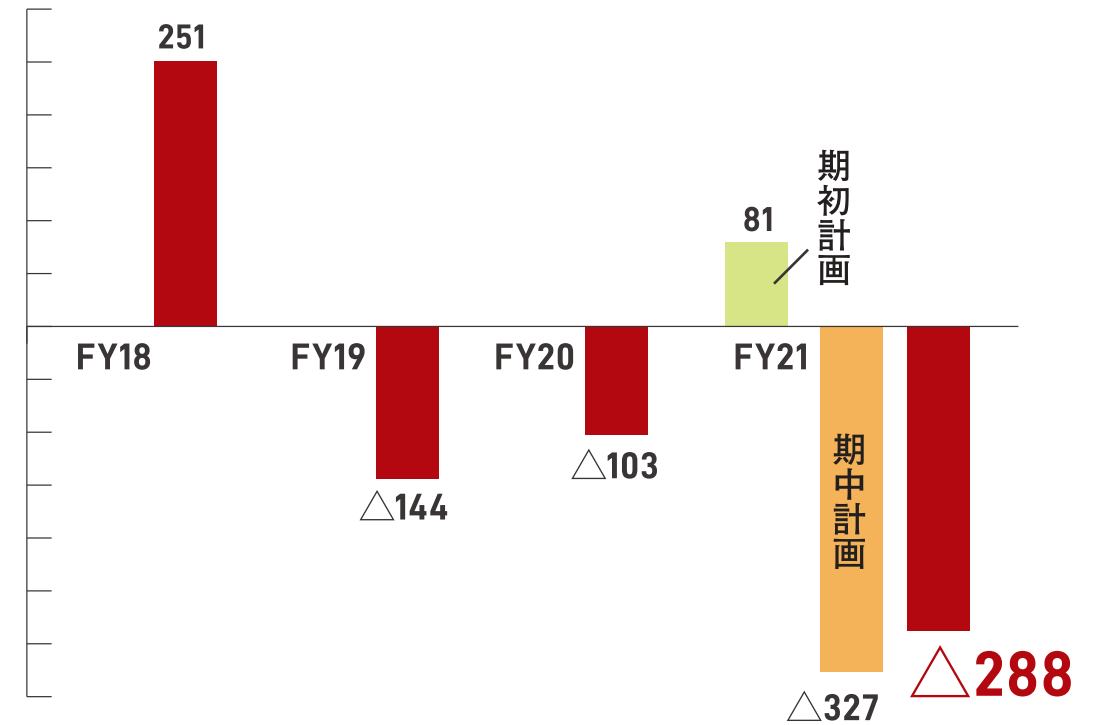
連結売上高及び営業利益推移

連結売上高

単位：百万円



営業利益



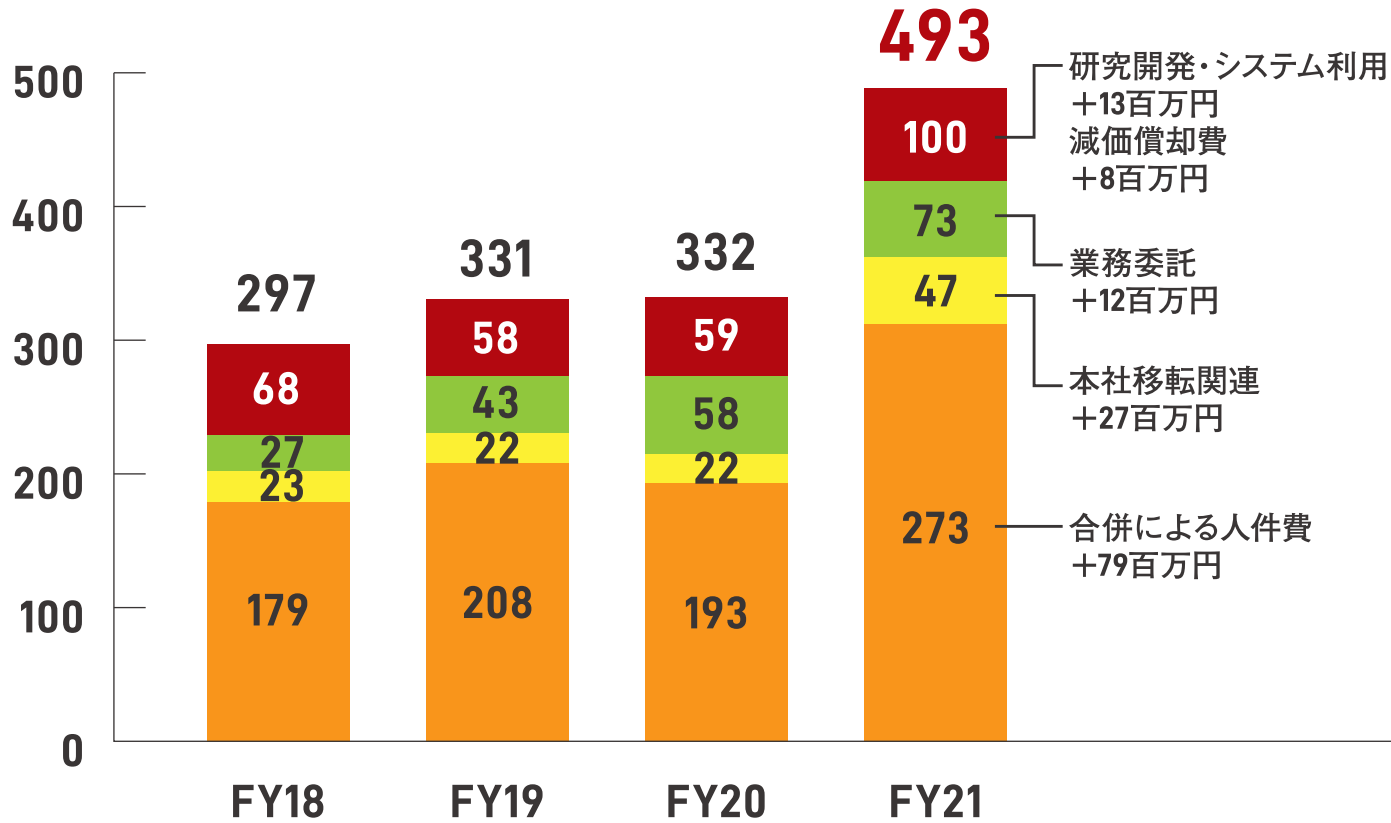
2021年1月期 決算概要

販売管理費推移及び従業員数

販売管理費

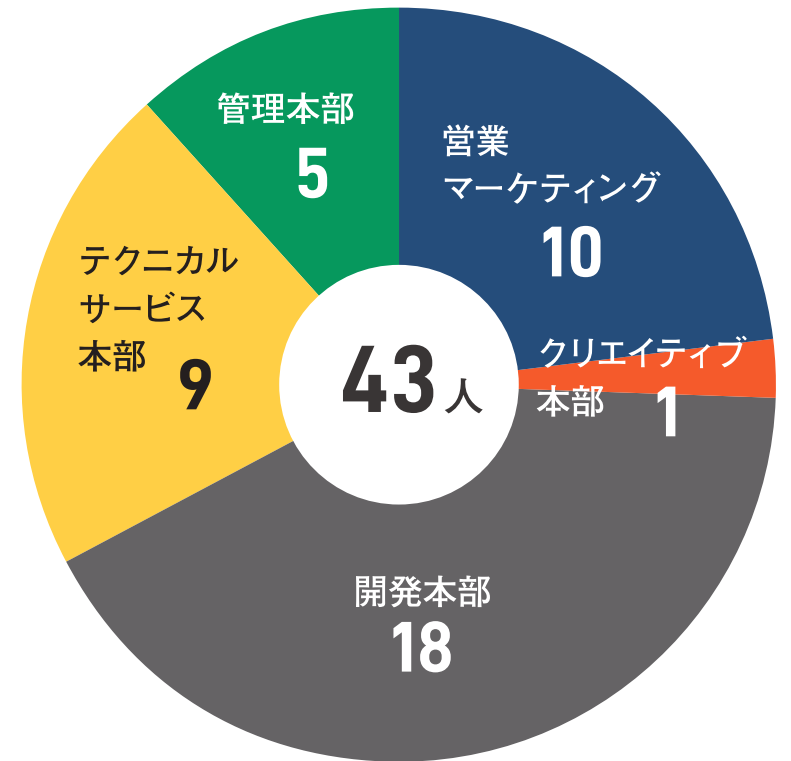
■ 人件費
 ■ 事務所家賃
 ■ 支払手数料
 ■ その他

単位:百万円



従業員数 (2021年1月末現在)

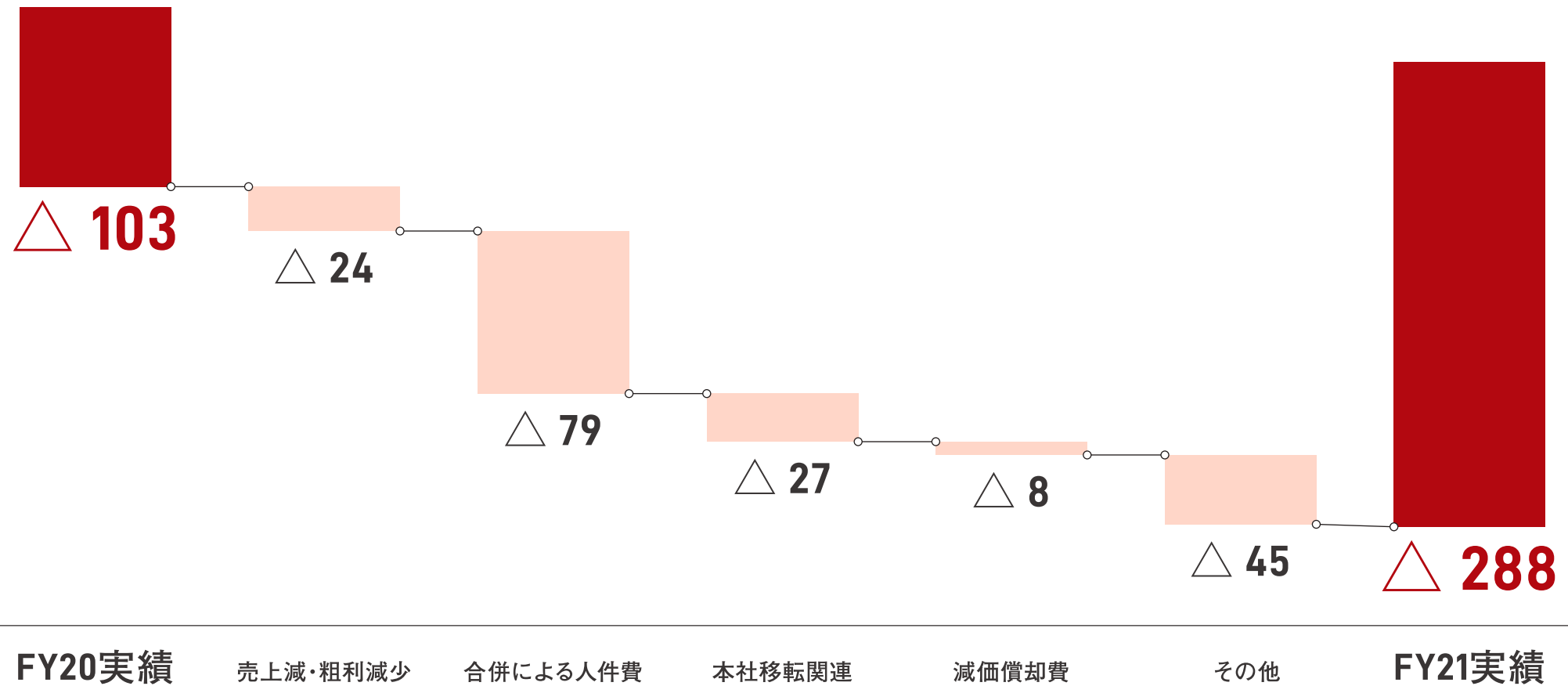
単位:人



2021年1月期 決算概要

営業利益増減分析

単位:百万円 ■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



不採算事業の整理

不採算事業についての洗い出しとその整理を積極的に推し進め、今期特別損失として計上。来期以降の黒字化に向け準備。

連結子会社(TRANZAS ASIA PACIFIC PTE. LTD.以下「TAP」)の株式評価損計上及び株式譲渡 ※2021年3月9日適時開示

TAP事業は、その安定的な収益獲得のための体制の確立に、当初の想定より多くの時間を要しており、更には、新型コロナの影響により、2021年1月期以降も黒字化が見込めない状況であることから、P3単体においてTAP株式評価損を計上。今後のTAP事業の進捗は不透明であり、TAP事業の当社グループの連結業績に対する影響を最小限にするべく、速やかにTAP株式を譲渡してTAPを整理する事が当社にとって最適であると総合的に判断。TAP事業を代表として運営していた藤吉英彦氏がMBO方式で株式を買い取ることで、双方合意に至る。

民泊向けチェックインサービス事業からの撤退

新型コロナの影響により、外国からの観光客も激減し、民泊事業において収益は見込めず撤退を判断。

開発仕掛案件や試作案件等の整理

今後の販売が見込めない開発仕掛案件やサンプル試作品等の資産を全て処分、整理。

横浜技術センター解約

本社移転後、技術センターとして使用していた横浜ランドマーク物件の解約を決定。

2021年1月期 決算概要

連結BSサマリー

単位:百万円	FY21 1月末	FY20 1月末	YonY	
流動資産	672	1,009	△336	
現金及び預金	473	617	△144	
固定資産	263	157	105	本社移転関連 +32百万円
資産合計	935	1,166	△231	
有利子負債	102	3	99	短期借入金 +100百万円
無利子負債	106	71	34	
純資産	726	1,091	△365	買掛金 +20百万円
資本金	442	438	4	
資本剰余金	388	378	9	
負債・純資産合計	935	1,166	△231	

2022年1月期 業績予想

企画～製品開発～メディア化までピースリー1社で提案可能

Platform &
Planning &
Product事業

新プラットフォーム企画提案・アライアンス強化

人々がサービスを受ける場としてのロケーションを有する多様なパートナー様への企画提案、アライアンスを推進(デジタルガレージ社、ダリア社、長野トヨタ社、コーユレンティア社、広島大学、ビーアンドピー社 etc)

総合的なロケーションメディア化推進

広告主様のニーズを捉えた魅力的な広告、コンテンツ配信を、自社設計のIoT機器とクラウド経由の配信によりサービス提供し、総合的なロケーションメディアとして展開

P3自社開発の新しい製品の創造

新プラットフォームの企画提案に沿った自社設計・EMS製造における価格競争力のある製品開発



広告主

広告出稿



ロケーションオーナー・パートナー企業

人々が集まりサービス提供を受けている場所



総合的な
ロケーションメディア
Platform & Planning &
Product事業

受注型
Product事業

テクニカル
サービス

STB、Cygnus等

他社システム開発保守、
エンジニア派遣

広告配信技術・魅力的なコンテンツ

美容サロン
サキザキテルコ
・全国3,000店舗
・設置ネットワーク
20,000台

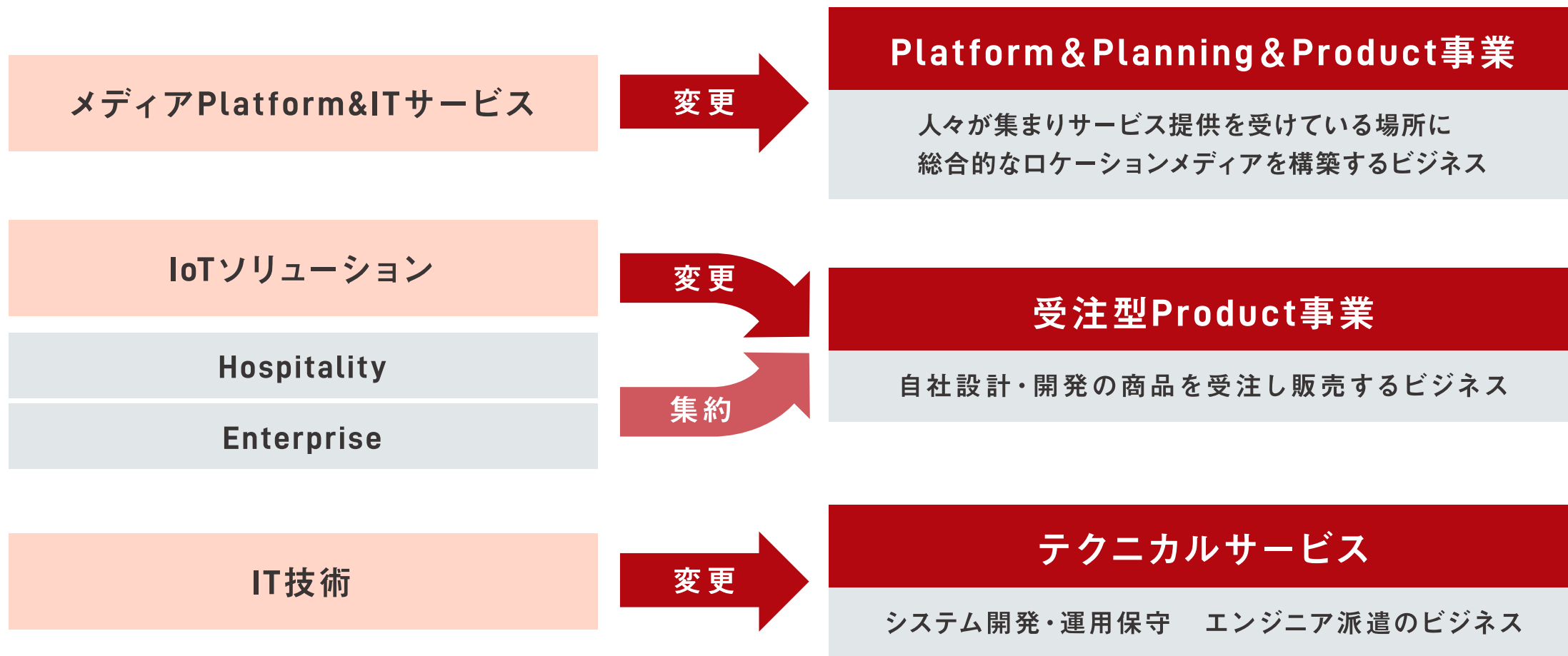
コユーレンティア
建設現場
・毎月1,000箇所以上
・サインージ(仮囲い、
休憩所、会議室、事務
所、朝礼会場)

商業ビル
ビルサインージ
・400ビル
・トイレ(40,000個室)
・エレベーター

理髪店
・関東5,000店舗
・設置ネットワーク
5,000台

P3自社設計の価格競争力のあるProduct開発・提供

P3の社名の由来 (Platform & Planning、Product) に合わせ、セグメント名称を変更



今期Platform&Planning&Product事業における大型案件が本格化することを見込み、増収増益を計画。美容院サロン向けビジネス以外にもPlatformを拡大し、統合的なロケーションメディアを構築。成長を推進。

単位:百万円	FY21 実績	FY22 予想	増減率
売上高	586	1,232	110.2%
売上総利益率	35.3%	40.7%	+5.4pt
営業利益	△ 288	10	-
営業利益率	-	0.9%	-
経常利益	△ 286	4	-
経常利益率	-	0.4%	-
当期純利益※	△ 367	3	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別業績予想

単位:百万円	FY21 実績	FY22 予想	増減率
売上高	586	1,232	110.2%
Platform&Planning& Product事業	40	1,006	2387.6%
受注型Product事業	388	131	△66.3%
テクニカルサービス	157	95	△39.2%

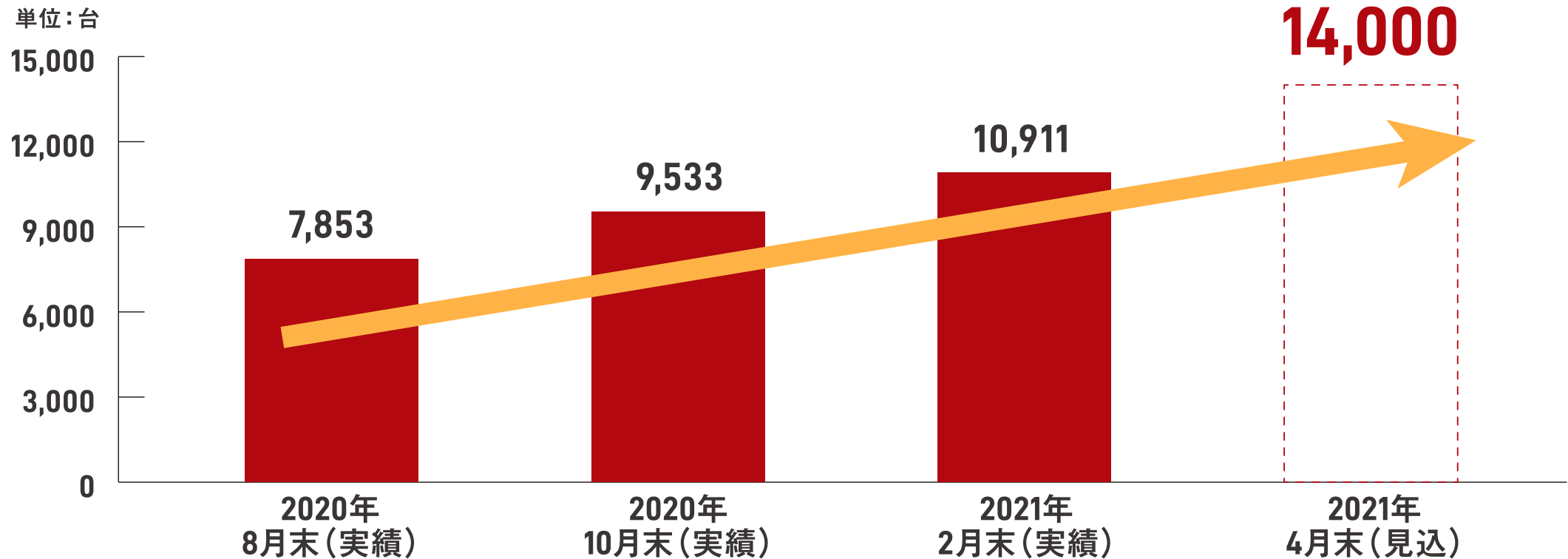
※親会社株主に帰属する当期純利益

事業別の状況

美容サロン向けサイネージ

前期は新型コロナウイルスの感染拡大による影響により設置ペースに影響があったものの、今期1Q内に出荷台数14,000台を超える見込みで推移。

出荷台数



美容サロン向けサイネージ

前期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、広告主様の広告出稿意欲が鈍化していたものの、出荷台数の増加及び積極的な営業施策により、主な広告主様の年度が切り替わる今期4月以降の広告獲得が本格化見込。今期コンテンツ配信システムの刷新により更なる利便性向上と、広告主様が求める広告効果訴求力の向上を図る。



長野トヨタ社との業務提携

長野トヨタ社本社や主力店舗へ「次世代型ショールームサービス」のフラッグシップモデルを導入予定。FY22下期を目途にLED設置、開発を進め、その後順次販売店舗に拡大していく予定。

[長野トヨタ本社]

FY22下期予定



[販売店舗]

FY22下期～FY23上期予定



コーユーレンティア社との業務提携 **FY22下期予定**

建設現場市場にFY22下期を目途に、順次、サイネージ端末及び映像配信システムの設置を拡大予定。配信システムの統合及び広告ビジネスを通じて取得したデータを解析・活用し、新たなサービスを構築予定。



広告主

広告出稿

LEDサイネージ設置、クラウド
広告配信管理、魅力的なコンテ
ンツ



広島大学との基本合意 **2021年4月新商品発表予定**

広島大学の新型コロナウイルス等の各種ウィルス及び薬剤耐性菌に対する紫外線の効果、有効な使用法の研究結果を踏まえ、広島大学と新製品の共同企画開発及びマーケティングを行い、広く社会実装を目指す包括的連携について合意。2021年4月に新商品（紫外線殺菌IoT製品）を発表予定。



広島大学

国立大学法人広島大学病院・感染症科

- ◎学術的なエビデンスの提供、性能評価
- ◎マーケティング上の助言、指導等



P3

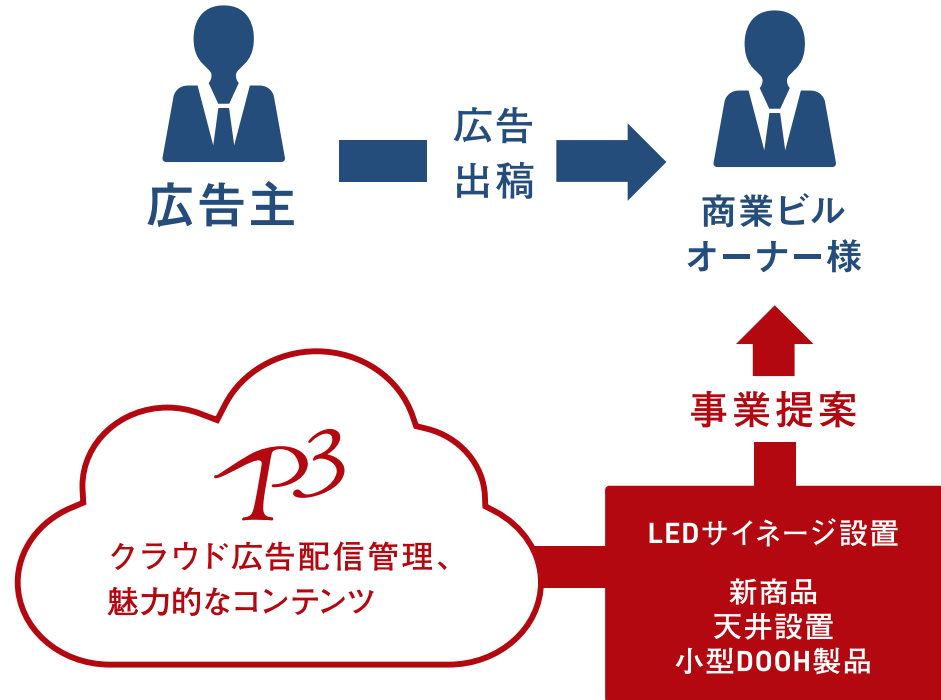
企画開発・製造・販売

新商品
紫外線殺菌IoT製品

商業ビル

2021年4月新商品発表予定

商業ビルオーナー様へのビルPlatform事業提案 (LEDサイネージ設置、新商品の天井設置小型DOOH製品) が進行中。今期商業ビルオーナー様所有の多くのビルに展開していく予定。



モール内



モール内通路

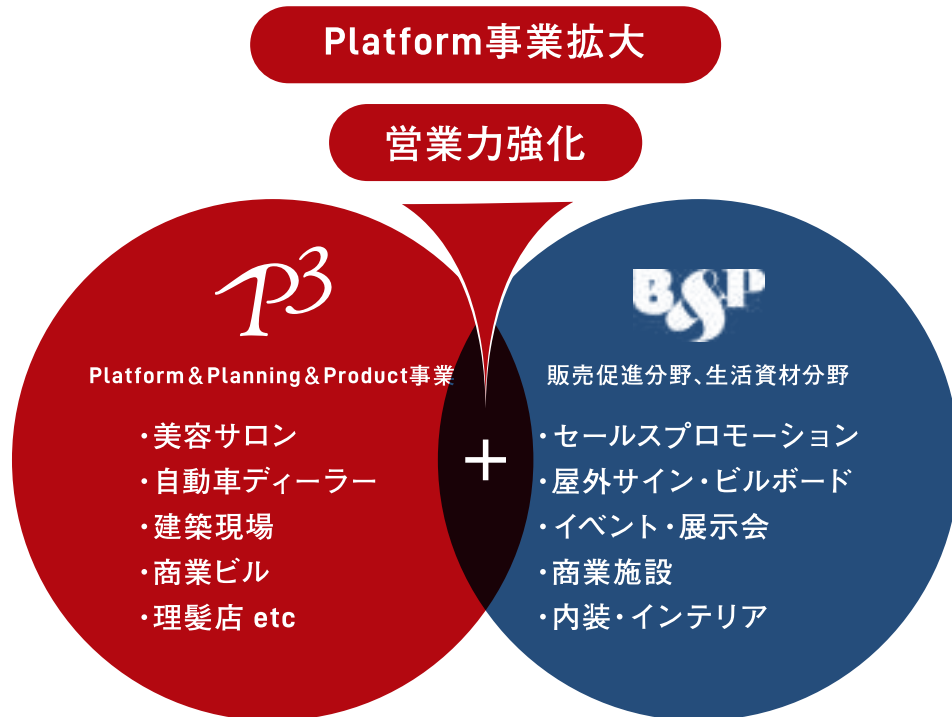


屋外サイネージ



ビーアンドピー社との業務提携

P3のデジタルサイネージを軸としたPlatform事業拡大、ビーアンドピー社の既存ビジネスの拡大と新しい市場の開拓を目的として、ビーアンドピー社と業務提携契約を締結。今後、P3のLEDサイネージ端末や、新製品群を、P3クラウドネットワーク及び映像コンテンツ等を活用した空間演出～スペースクリエーションサービス～等、幅広い市場に共同で展開予定。



P3-Signage

シンプル・簡単で直感的な操作感を徹底的に追求したデジタルサイネージのコンテンツ配信システム。「何を」「どうやって」「いつ」「どこに」配信するかをドラッグ&ドロップだけで番組配信が可能。4K映像への対応も開始し、今後は更に広範囲への導入を目指します。

[導入事例]

導入企業

- ◎某大手コンビニエンスストアチェーン(最大2,100店舗設置実績あり)
- ◎某空港ビル ◎某中古車販売チェーン 等

[導入後の改善例]

- ①商業施設内でのフロア案内、交通機関での運行情報、金融機関での金利/株価情報などを表示します。
- ②ビルボード(大型ビジョン)広告に加え、駅中の柱まきなどで、広く広告や情報を伝えたい企業や団体が活用しています。
- ③商業施設での販促に活用されるモデルです。MD(マーチャンダイジング)と呼ばれるその時々の注力商品の店頭販促に活用したり、店舗施策の紹介や告知に活用されたりしています。最も導入件数が伸びているモデルです。
- ④商業施設や公共施設における空間演出に活用するモデルです。建物のリニューアルは簡単にできませんがデジタルサイネージならばコンテンツを変更するだけで新しいイメージや、季節に合わせた演出などが可能になります。
- ⑤ある一定期間開催される大きなイベントを円滑に運営するという目的で活用されます。今後、オリンピックに向けてニーズが高くなっていくと思われます。



VIEWGATE

モジュールの組み合わせによって大きさを自由に調整することが可能なLEDサイネージ。今期はVIEWGATEの名称で、商業ビル、ホテル、オフィスのエントランス等、屋内屋外問わず、Platform事業の戦略商品として展開予定。

VIEWGATE

モジュールの組み合わせによって大きさを自由に調整する事が可能です。設置場所に応じて適切なサイズでご提案いたします。「人が多く集う場所を心から安らげる空間」へ。LEDサイネージによる全く新しい技術をお届けいたします。

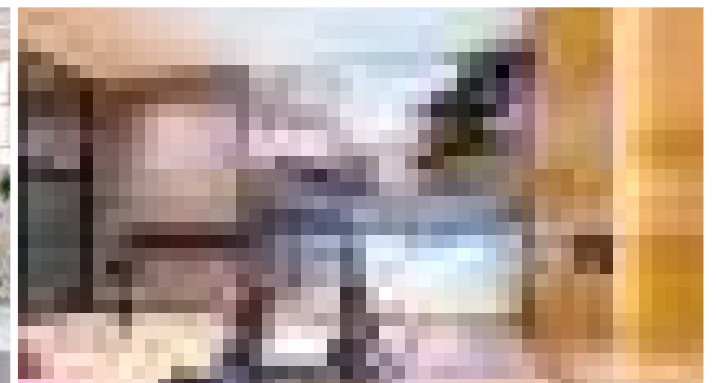


Module



Cabinet

[導入事例] 大手通信キャリア店舗 / 結婚式会場 など



STB (セットトップボックス)

テレビ番組の放送受信に限らず「機能特化型コンピューター」としてあらゆる場面に応じた活用をすることが可能なターミナル。ホテル向けVOD、デジタルサイネージ等、P3が提供するIoTソリューションのあらゆる用途で使用。今期は4K映像対応型の入替え需要を目指します。

[導入事例]

ホテル向けSler(全国のビジネス、シティ、レジャーホテルへの導入)

国内大手メーカー、Sler(官公庁、地方自治体、放送局、文教市場への導入)

[利用例]

ホテル用途

- ◎インフォメーション機能: ホテル内の施設案内、近隣施設の情報やイベント情報、ホテルからのメッセージ等を表示。
- ◎VOD機能: 海外/日本の映画、ドラマ、アニメ等の放送。
- ◎オーダリング機能: ホテル内/外(デリバリ)で販売している飲食物の注文機能。
- ◎リネンシステム機能: 客室清掃の要/不、完了/未完等を清掃員に視覚的に知らせる機能。
- ◎アクセスポイント機能: 宿泊者のモバイル端末向けのWifi機能。

その他

- ◎監視ソリューション(防災等): 監視カメラからの映像受信、Live/VOD(録画)視聴等。
- ◎放送/モニタリングソリューション: Live中継、イベント放送、映像品質のモニタリング等。
- ◎教育支援ソリューション: Live/VOD視聴や電子黒板、プロジェクタ機器等と連携したe-ラーニング等。
- ◎データ変換ソリューション: 他の機器から収集したデータを変換/伝送し利用者へのイベント通知等。
- ◎その他: 映像によるインフォメーションや、娯楽、社内放送用途として。



Cygnus

利用用途に応じた各種アプリケーションを端末に搭載可能とし、顧客の思い通りの端末操作を実現可能な端末。今期は継続して大手製造業の企業様との製造ライン向けラインナップの開発を進め、今後の横展開を目指します。

[導入事例]

導入企業

某大手運送会社 物流倉庫

[導入後の改善例]

- ◎必要最低限の機能、画面レイアウトによりOJTの時間が減少。
- ◎棚にラベルを貼りスキャン時にNGならバイブレーションと音声通知。
- ◎詳細な各端末のログを取り生産性が見える化。
- ◎ハンズフリー、画面の視認性、1回当たりの持てる量が増え約8割のスタッフが約2~3割生産性向上。
- ◎画面、音声、バイブレーションなど好みのイメージ、タイミングでカスタマイズ可能なため現場の運用にマッチしたオリジナル端末として運用。



Technical Service

車用品事業、ブライダル事業、通販事業等の企業様の業務システムの受託開発・メンテナンスサービスの提供を実施。今期もクライアント企業様からのニーズを捉え継続した安定月額収益の獲得を目指します。

[導入事例]

受託開発

- ◎ブライダル事業者様向け婚礼、イベント受発注システム
- ◎カー用品事業者様向け
 - ・売上実績管理システム
 - ・ピット作業予約管理システム
- ◎小売業様向け受発注管理システム

導入支援事例

- ◎ブライダル事業者様向け
 - ・通信ネットワーク環境の改善
 - ・マルチモニタ導入
- ◎カー用品事業者様向け統合ビジネスソリューション (ERP)
- ◎資格取得学校運営事業者様向けECサイトのクラウド移行



参考資料

本社

会社名 株式会社ピースリー (旧:株式会社トランザス)
上場市場 東京証券取引所マザーズ市場 (証券コード:6696)
役員 取締役会長**C.E.O** 寺山 隆一
代表取締役**C.E.O** 藤吉 英彦
取締役 **C.F.O** 青柳 貴士
取締役(監査等委員) 岡安 俊英
取締役(監査等委員) 佐々木 豊
取締役(監査等委員) 原口 昌之

創立 1995年1月26日
資本金 442,475千円 (2021年1月末日現在)
所在地 〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町4番3号 泉館紀尾井町3F

台湾R&Dセンター

所在地 新北市新店區民權路95號12樓之5
TEL 02-2218-1253

TRANZAS Asia Pacific Pte, Ltd.

所在地 7500A Beach Road,
#08-320/321 The Plaza Parkroyal Singapore 199591
TEL 65-6385-6987

世の中に無い新しい製品・サービスの創造

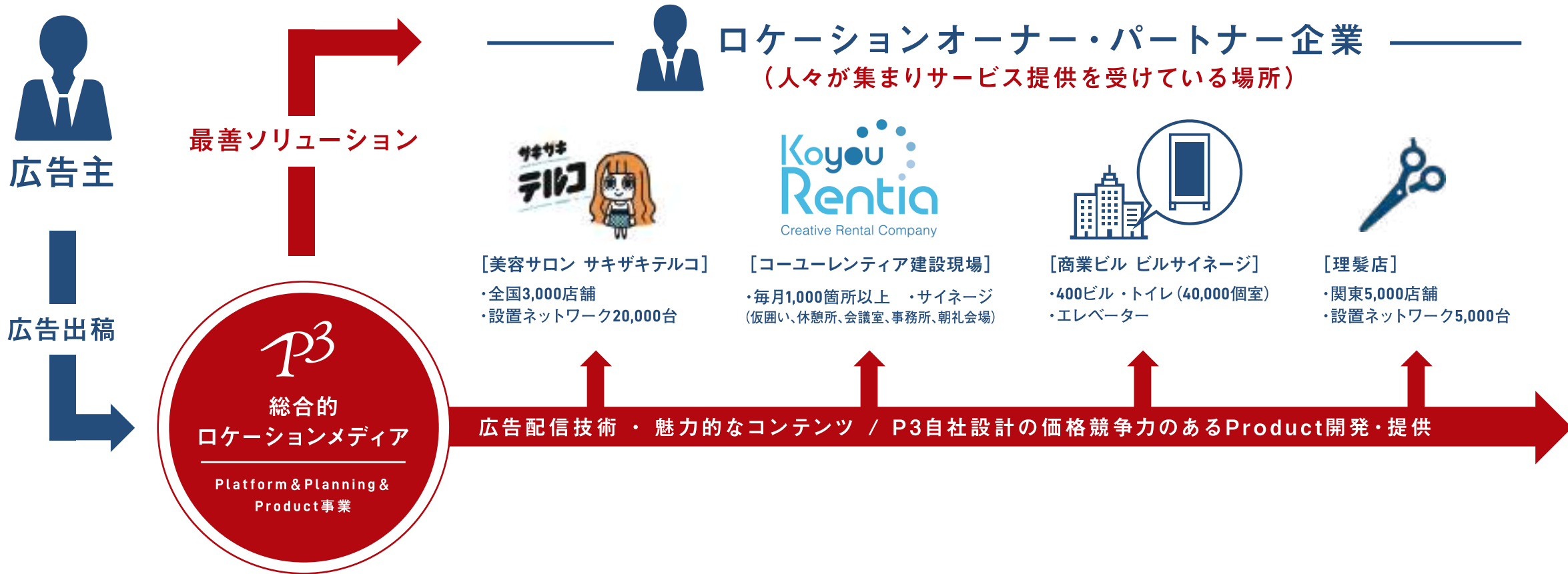
いかなるサービスも人の為であり、

そのサービスの仕組みやビジネス上の仕掛けの為ではありません。

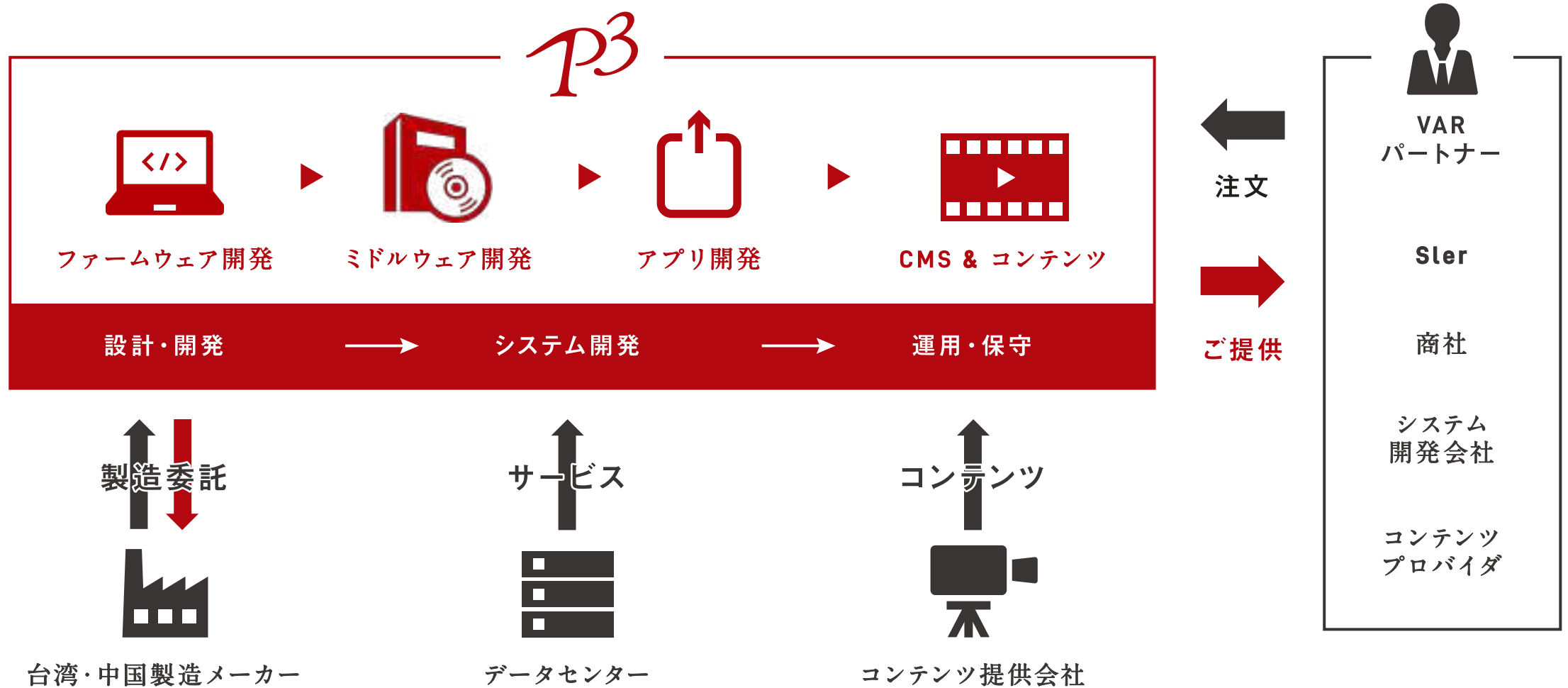
いかなるビジネスも「その先に人がいる」ことを忘れず、

我々は利用者への価値の提供を第一に考えます。

人々が集まりサービス提供を受けている場所のロケーションオーナー等に、総合的なロケーションメディアを構築することを企画提案 (Platform & Planning) し、P3の自社設計の価格競争力のある幅広いProductと共に唯一のメディア価値を創造します。



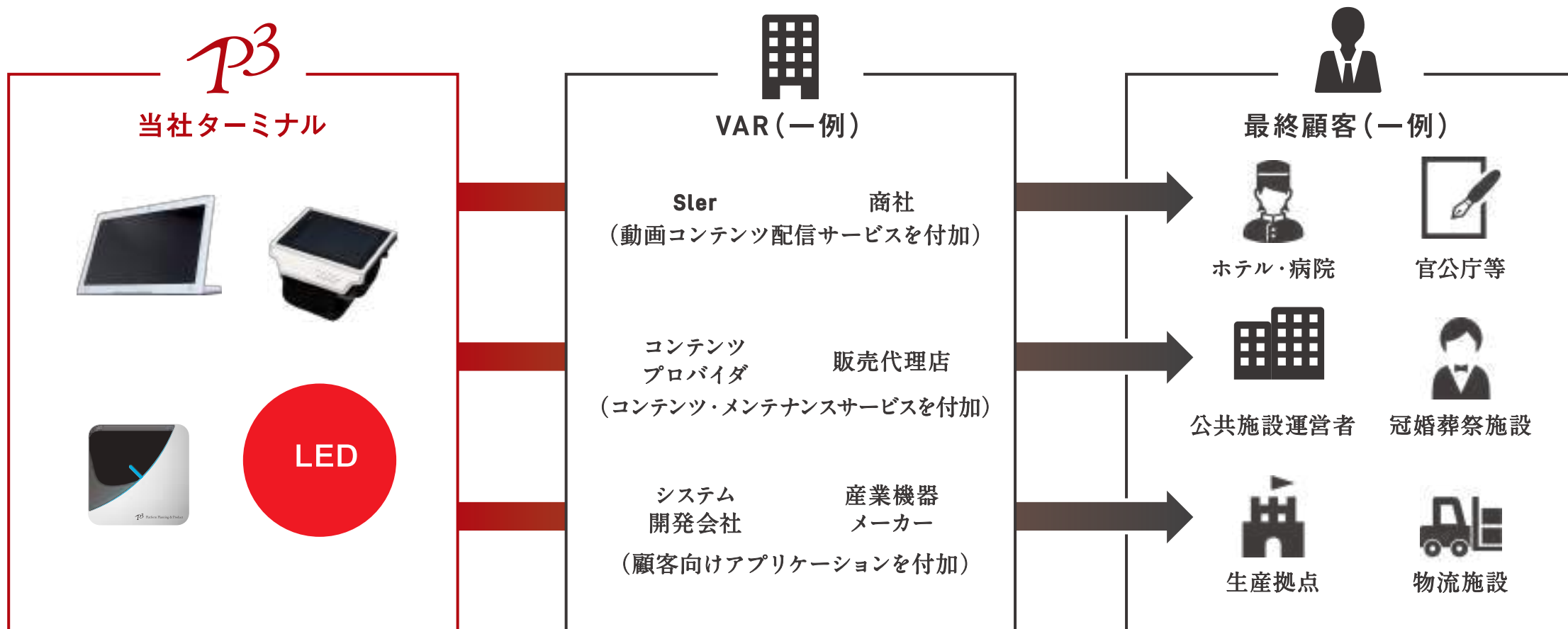
ターミナル*の設計・開発から運用保守までの完全垂直総合を実現し、VAR (パートナー) が望むターミナルを柔軟に開発しご提供いたします。



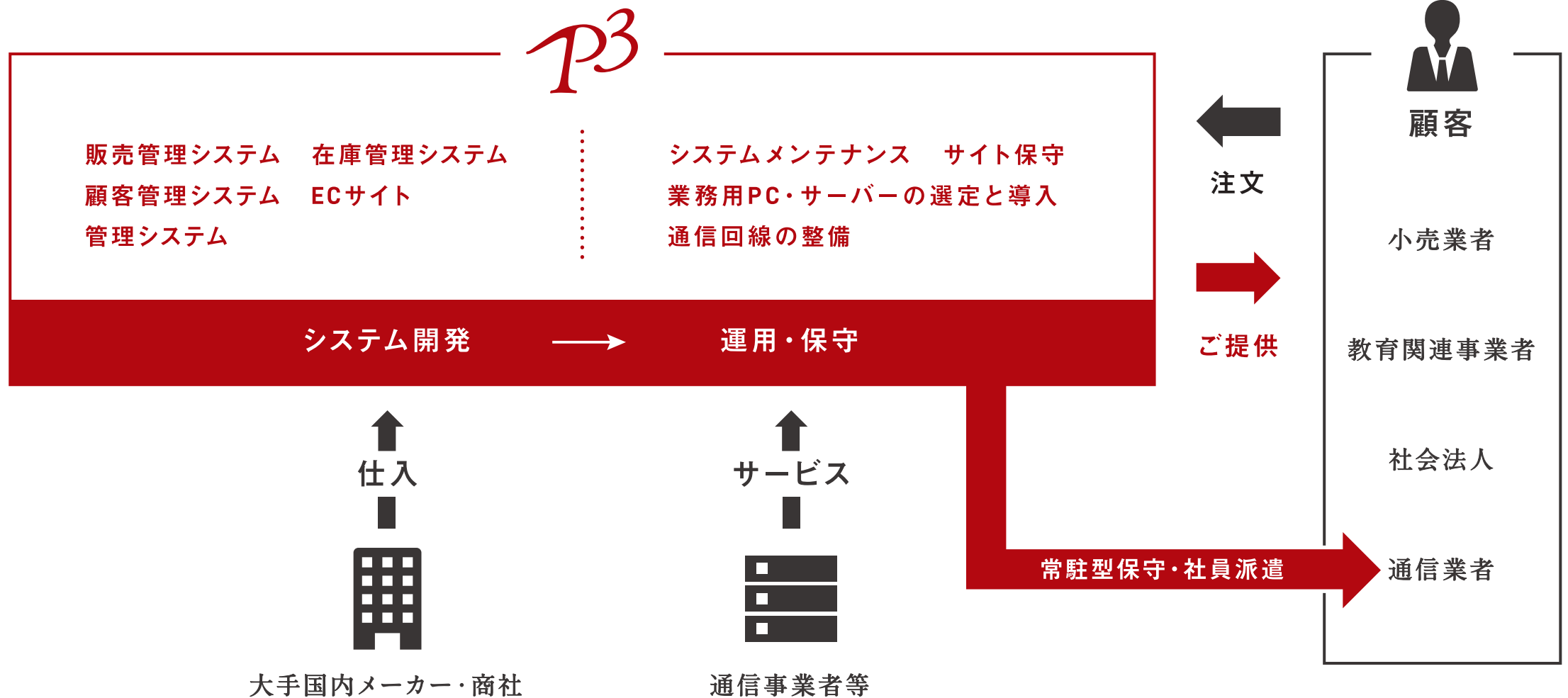
*通信機能を持ったIoT端末や機器装置

VAR (Value Added Reseller: 付加価値再販パートナー) との協業について

当社ターミナルに価値を付加し再販する事業者をVARとし、VARと協業することで事業拡大を図っております。VARが当社ターミナルに価値を付加し、様々なマーケットや顧客に横展開することで、当社ターミナルは新たなマーケットに拡販されております。

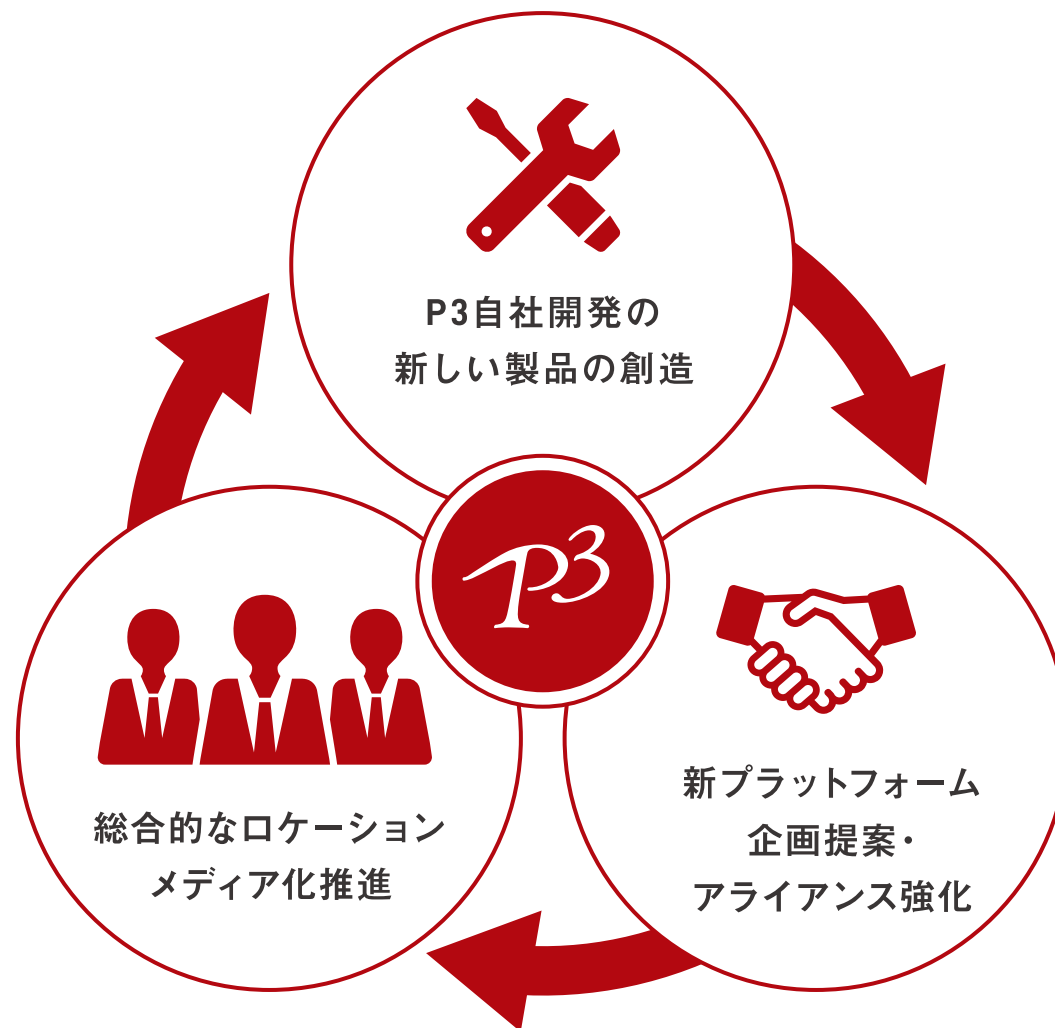


業務システムの構築、アプリケーション開発及びターミナルの導入支援、並びにそれらのメンテナンスをご提供しております。

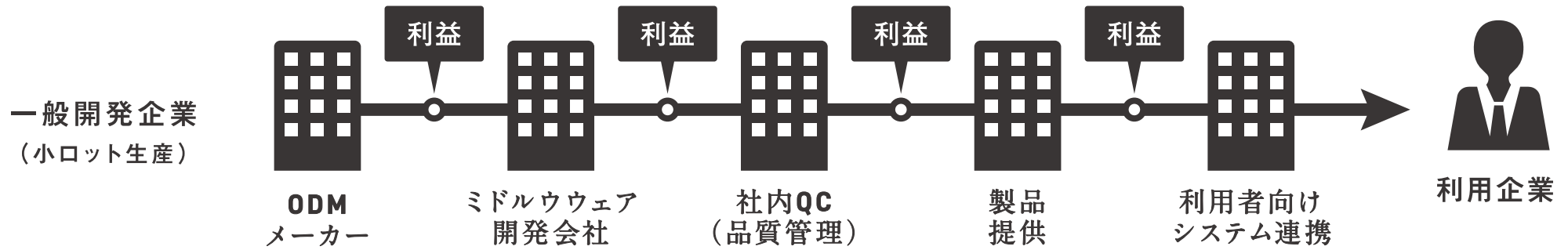


Platform & Planning & Product事業

様々な人が集まる場所のロケーション
オーナー、パートナー企業様に向け、各広告
主様のニーズに合わせたPlatform &
Planning(企画提案)、Product(製品開
発)、総合的なロケーションメディア化まで
ピースリー1社で提案可能。お客様の価値
が最大化するよう最善のソリューションを
ご提案いたします。



ファブレスをベースとし、製品設計開発からサービス提供までを一気通貫で行うビジネスモデルです。

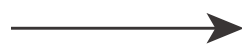


徹底した流通経路のコストダウンと垂直統合型体制が価値競争力へと繋がり独自市場を可能にします。

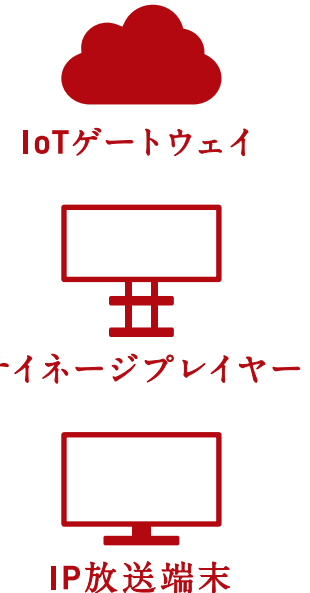
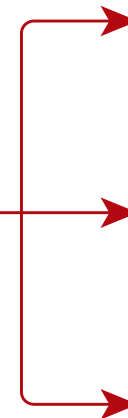
※VAR=Value Added Reseller (付加価値再販パートナー)

事業概要 | P3としての強み③

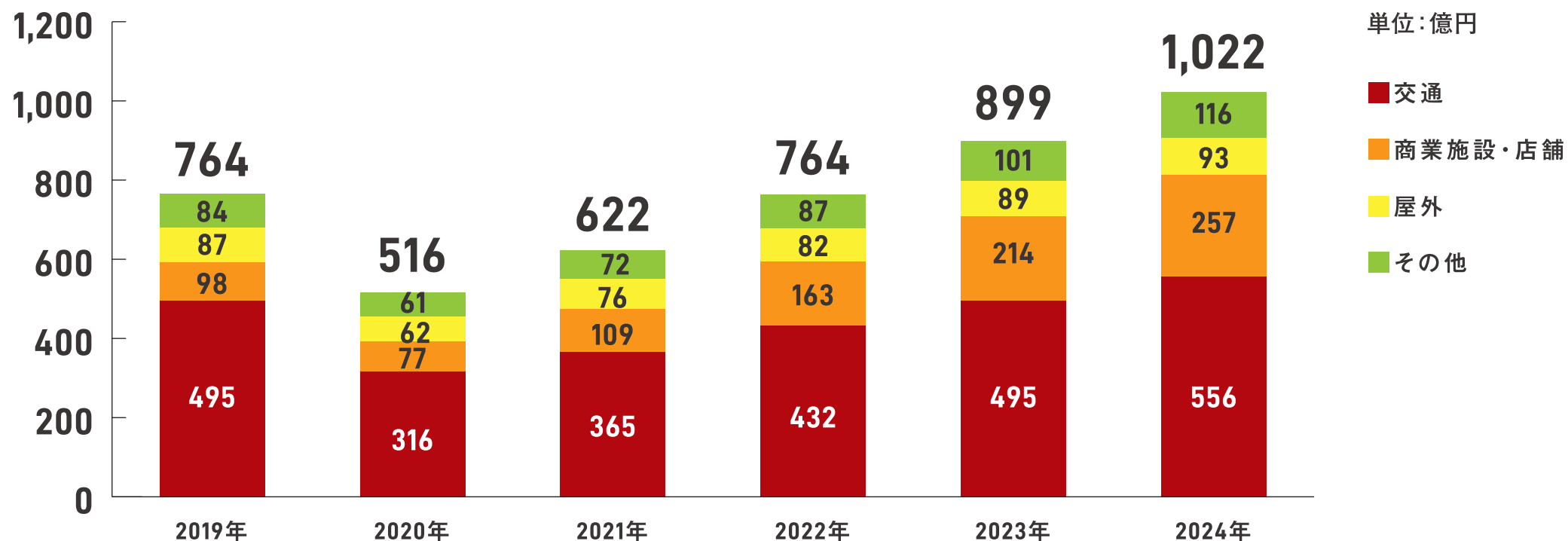
あらゆるプロジェクトにも利用できるよう、ソフトウェアは機能毎にモジュール化を行います。



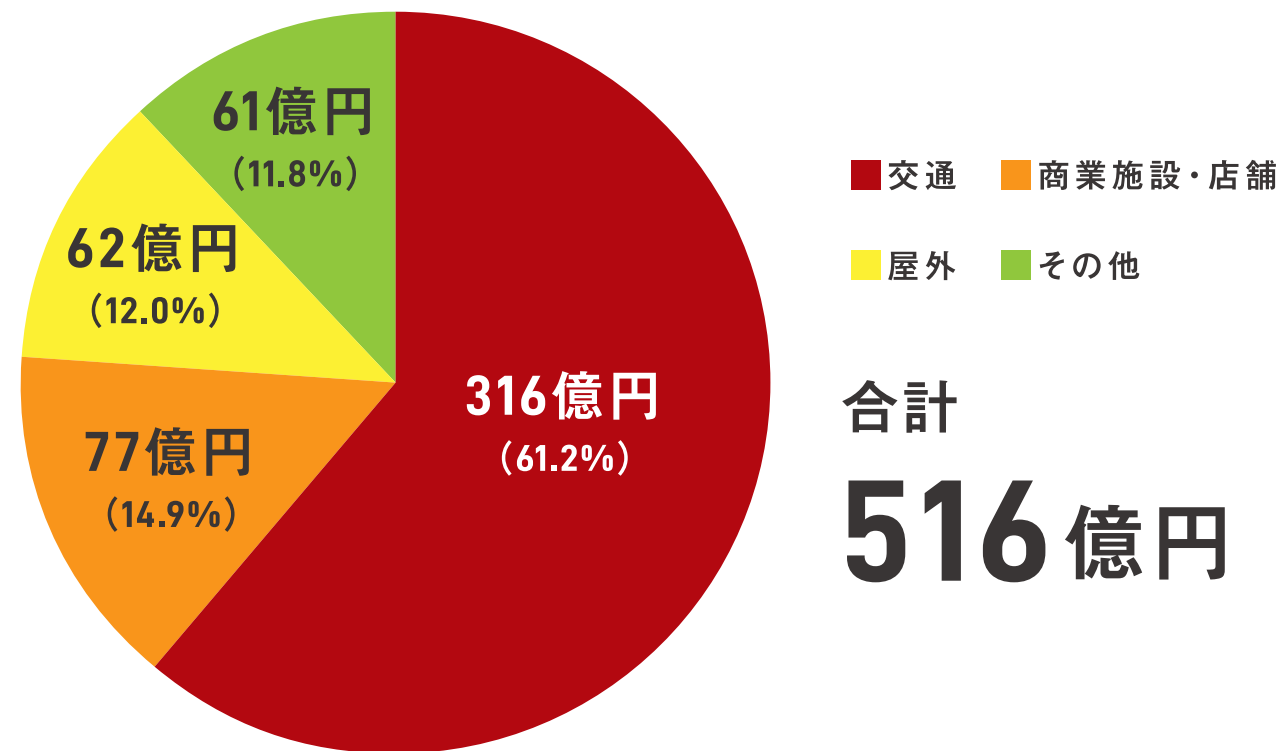
販売台数が少ないと、ソフトウェア償却が
高額になり大量生産、又はコモディティ
のみでしか利益が出せません。



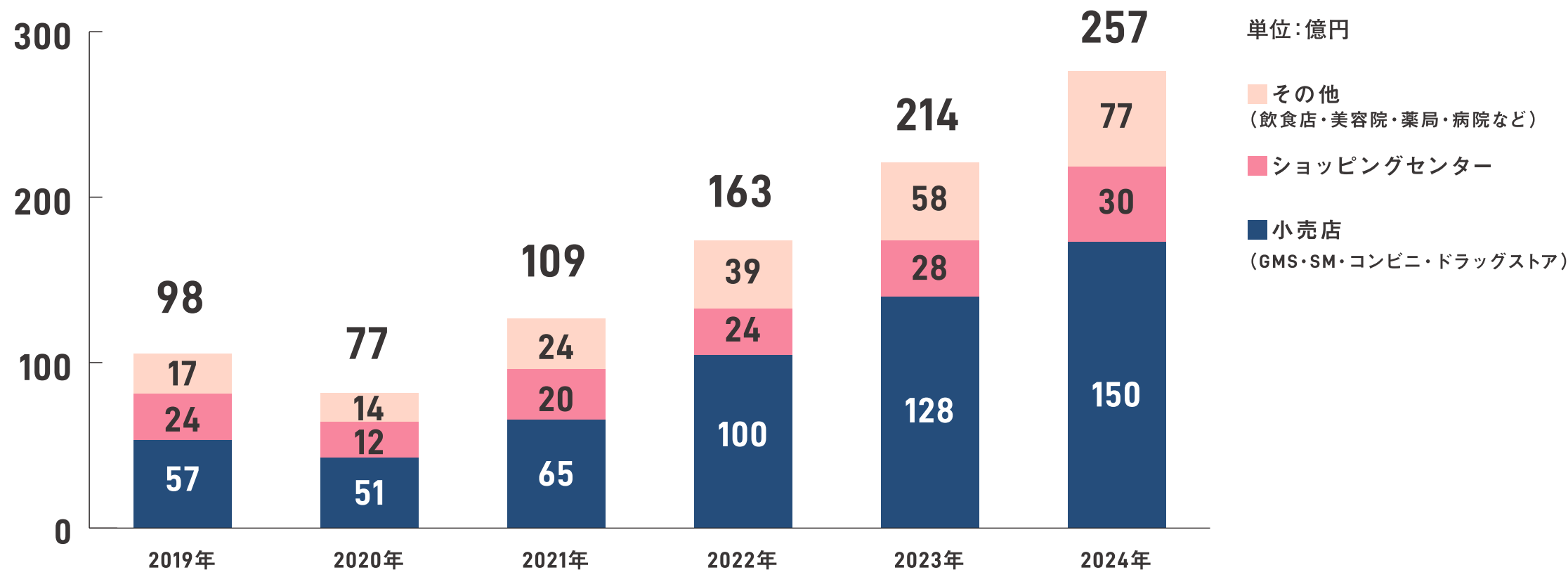
新型コロナの感染拡大にともなう外出自粛により、デジタルサイネージと生活者の接触数が大きく減少。2020年のデジタルサイネージ広告市場規模は、前年比で32%減の516億円となる見通し。一方、2021年以降はコロナ禍が収束すると見込んで回復基調となり、2024年には1,022億円に達すると予測。



メインとなる「交通機関」セグメントは、利用者の大幅減少にともない、出稿も大幅に抑制も、既に2020年後半以降、需要回復の兆しが見られる。また、プログラマティックによる広告配信、大型サイネージの広告商品などが、今後市場を牽引すると考えられる。その他セグメントについても同じく、活発な取り組みが改めて回復すると考えられる。



「商業施設・店舗」セグメントでは、従来の販売員による対面販売に代わる手法として、デジタルサイネージが急拡大する可能性もあり、2020年の77億円から、2024年には257億円まで市場が拡大すると予測。



その先に人がいる

P3 Platform Planning & Product

免責事項

- ・本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標等が記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されております。
- ・当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わずいかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。